

週間漁海況情報 2024年第31号

令和6年7月30日発行

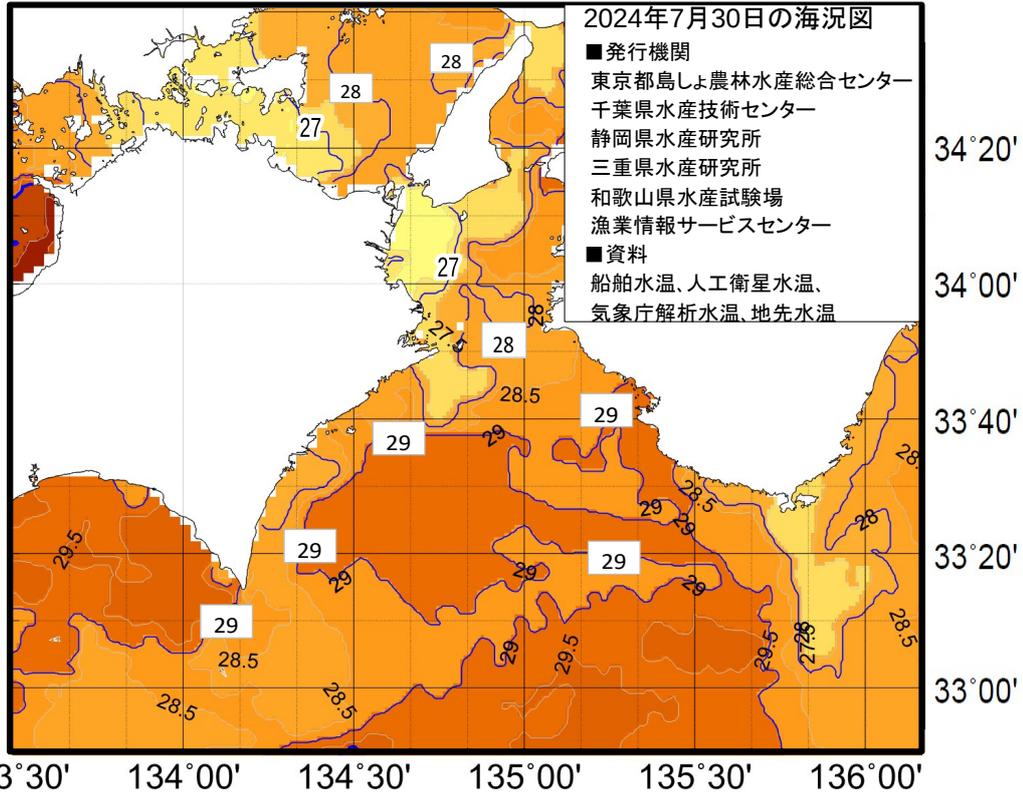
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖40マイル付近、潮岬沖110マイル付近を流れ、室戸で「やや離岸」、潮岬で「著しく離岸」しており、先週とほぼ同じ流路である。

黒潮の表面水温は29～30℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘、紀伊水道で26～28、海部沿岸で27～29℃台となっている。

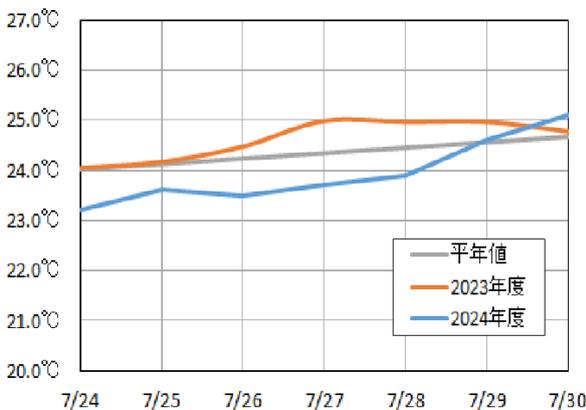


※黒潮の離接岸の表現 (いずれも正南方向)
 室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
 潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～
 ※図中の破線は黒潮の北縁を示しています(このところ、著しい離岸が続いているため、表示範囲より南の場合が多い)。
 直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

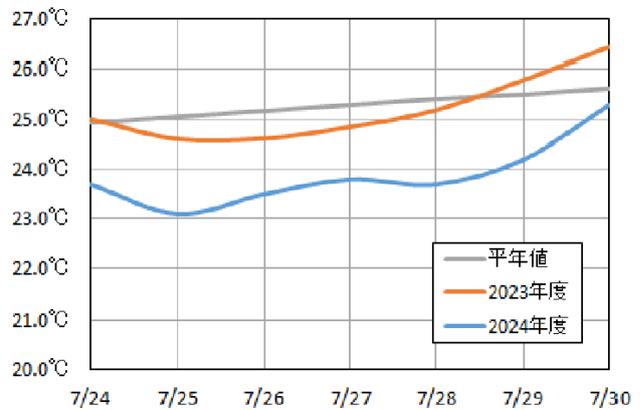
2. 地先水温(7月24日～7月30日)

鳴門地区の水温は、23.2～25.1℃で「やや低め」から「平年並み」、浅川地区は、23.1～25.3℃で「低め」から「平年並み」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は-0.5～0.5℃で、ほとんど差はなかった。

鳴門地区



浅川地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満，やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
 高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満，かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上
 ※平年値 1984年～2022年(鳴門)、2018年～2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(7月31日～8月6日)

黒潮は、室戸岬沖で「離岸」、潮岬沖で「著しく離岸」して推移する見込み。
地先水温は、鳴門地区、浅川地区ともに「平年並み」で推移する見込み。

漁況 (7月22日～7月28日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：5)

船びき網では、シラスが大きく増えて150.8ト水揚げされた。
 延縄では、ハモが減って中主体に6.4ト、あまだい類が大きく増えて0.7ト水揚げされた。
 底びき網では、ハモが減って中主体に4.4ト、えそ類が大きく減って0.4ト水揚げされた。
 小型定置網では、マアジが増えて1ト、イサキが減って0.6ト、
 ブリが減ってめじろ級主体に0.5ト、ふえふきだい類が大きく増えて大主体に0.4ト、
 カワハギが減って大主体に0.2ト、マダイが減って0.2ト、カンパチが増えて大主体に0.2ト、
 かます類が減って0.1ト、マダコが大主体に0.1ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

釣りでは、イサキが0.1ト水揚げされた。
 延縄では、キダイが増えて大主体に0.5ト水揚げされた。
 小型定置網では、かます類が大きく増えて小小主体に0.4ト、ウルメイワシが0.3ト、
 マルソウダが0.1ト、マアジが減って豆アジ級主体に0.1ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.1トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	119	シラス	150,840	1,268		↗↗
	延縄	56	ハモ	6,368	114	中主体	↘
		58	あまだい類	735	13		↗↗
	底びき網	24	ハモ	4,445	185	中主体	↘
		22	えそ類	417	19		↘↘
	小型定置網	29	マアジ	1,018	35		↗
		21	イサキ	609	29		↘
		14	ブリ	537	38	めじろ級主体	↘
		11	ふえふきだい類	411	37	大主体	↗↗
		29	カワハギ	238	8	大主体	↘
		27	マダイ	179	7		↘
		9	カンパチ	154	17	大主体	↗
		7	かます類	142	20		↘
23	マダコ	114	5	大主体	→		
海部沿岸	釣り	19	イサキ	100	5		→
	延縄	10	キダイ	526	53	大主体	↗
	小型定置網	12	かます類	351	29	小小主体	↗↗
		8	ウルメイワシ	255	32		→
		8	マルソウダ	118	15		→
7		マアジ	104	15	豆アジ級主体	↘	

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘